

平成29年度 学校評価実施報告

学校番号 3 学校名 千葉県立千葉東高等学校 課程名 全日制

領域	自己評価の結果 (達成状況, 結果の分析)	学校関係者評価の結果
学校 経営 営	<p>生徒が主役となる活動の充実と、その成果の積極的な広報に努めた。東雲祭(文化祭)の来場者は6,500名超、ホームページの更新は220回を数えた。</p> <p>地域自治会関係者や警察と情報を共有しつつ、登下校時の安全確保等の指導の徹底をはかった。</p> <p>学級保護者懇談会を新たに年1回設定し、担任と保護者、保護者同士の情報交換の場を増やした。</p>	<p>学校に対する高い期待が、各種のアンケート結果に表れている、期待に応える学校づくりに引き続き努力するとともに、学級懇談会等保護者との連携づくりにもさらに努力してほしい。</p> <p>地域の高齢化が進んでおり、高等学校への関心が薄れている現状がある。地域住民への「東校だより」の配布を継続してほしい。</p> <p>生徒の地域行事への参加は評価が高い。今後も積極的に取り組んでほしい。</p>
学習 指導	<p>生徒の学習評価における肯定的評価の割合は昨年度から約3%上昇し8割を超えた。</p> <p>授業公開・研究を積極的に実施し、授業改善に努めた。</p> <p>日常的な補習指導に継続して取り組むとともに、夏季休業中に課外授業を72講座開講、延べ2,037名の生徒が受講した。</p>	<p>現状で十分に高い学習指導に対する評価をさらに一段向上させるために、「授業評価」アンケートをさらに充実させることを試みてほしい。</p> <p>毎日7時間授業を実施し、放課後、長期休業中も課外授業を行っている学力向上への努力は素晴らしい。一方で、「生徒の負担」が過度にならないよう配慮し、生き生きとした学校活動を行ってほしい。</p>
生徒 指導	<p>教職員に相談しやすい雰囲気があると答えた生徒が7割を超えた。またスクールカウンセラーへの相談件数は12月現在で延べ88件となっている。</p> <p>生徒の登下校時の事故防止について、時機を捉えて指導を重ねてきた。</p> <p>安全点検の結果を集約し、施設設備の安全確保のための措置に努めているが、不十分な状況がある。</p>	<p>現在の高校生の「悩みの質」は様々であり、全ての生徒に学校だけが対応するのは難しいのではないかと。外部機関との連携等に十分努めてほしい。</p> <p>東校が現在持っている進学校としての確たるイメージを反映し、地域は学校、生徒に対して高い評価を与えていると考える。</p> <p>正門への警備カメラの設置を検討してはどうか。また、学校評価アンケートの質問は、「施設設備」と「校内美化」を明確に区別してはどうか。</p>
キャリア 教育 ・ 進路 指導	<p>生徒の進路指導に関する肯定的評価の割合は、昨年度から約3%上昇し8割を超えた。卒業生等の支援を受け、より生徒に実感を持たせる指導に努めた。</p> <p>生徒へ有効な進学指導を実施するため、職員対象の進路指導研修会を年間8回実施した。</p>	<p>「入学して良かった」と感じる生徒がすでに9割に達している。この肯定的評価をさらに維持向上させるために、卒業生等外部人材を活用し生徒に「目標」や「将来の姿」を明確に意識させる指導に取り組んでほしい。</p>
特 色 あ る 教 育	<p>海外交流事業として姉妹校への生徒派遣の他、中国からの留学生、千葉大学留学生との交流事業にも取り組んだ。国際理解教育の取組に9割の生徒が肯定的な評価を示した。</p> <p>千葉大学との高大連携事業である、基礎教養講座・HOClにはあわせて22名の生徒が参加した。</p>	<p>学習指導だけではなく、国際理解・部活動等にも熱心に取り組む、幅の広い学校であることが特色であると感じている。この取組を継続し、個性あふれる多様な人材を育成してほしい。</p>